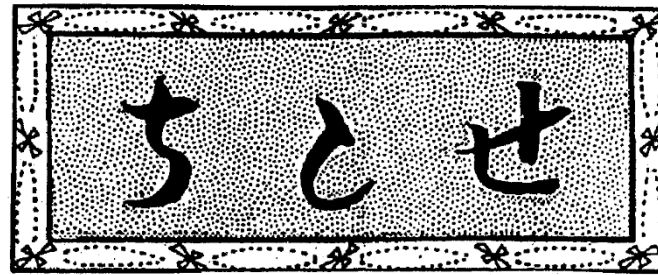


発行・編集 ミニコミ「ちとせ」編集委員会
責任者 松園 伸子
事務局 船橋まちづくりセンター
電話 3482-0341
2022.3 No.122



まちの目が
安全・安心を守っています
船橋地区町会・自治会連合会
船橋地区身近なまちづくり協議会
青少年船橋地区委員会/成城警察署/成城防犯協会



▲ミニコミ紙は世田谷区のホームページから
もご覧いただけます。二次元コード
または、区 HP 内、[ミニコミ 船橋](#)で検索

「多世代が交流する 笑顔あふれるまちへ」

子どもたちが 島田農園 船橋観音堂 深津畳店へ

世田谷区立船橋児童館

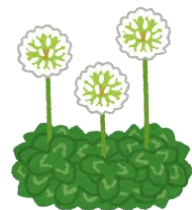
船橋児童館では、今年度は「子ども夢プロジェクト」という子どもの夢をかなえる活動を実施中。キーワードの一つは「わらしべ長者」。子どもたちは、昔、この地域が烏山川の流れる農村だったこと、米や麦からとった藁(わら)で、わらぶき屋根、草履(ぞうり)、蓑(みの)などを作っていたと聞いて、「えーっ！本当？」とびっくり。そして「地域の方のお話を聞いてみよう！」と、まち探検へ。



▲島田農園で農業体験。
のらぼう菜を育てました。

千歳台の島田農園では、「のらぼう菜」をとる体験をさせていただきました。船橋観音堂では、管理されている鈴木照枝さんに、特別に中を見せていただくことに。鍵を開けると、区の登録文化財に指定されている厨子(ずし)があり、子どもたちは「中には何が入っているの？」「回り念仏(ねんぶつ)って？」など、次々と質問していました。

深津畳店では、藁を使って畳(たたみ)を作ること、口に水をほおばり霧を噴くので虫歯がないことなど、深津さんのお話をじっくりと聞きました。児童館の職員によると、子どもたちはこの日の体験を、当日参加できなかったメンバーに熱心に伝えていたそうです。世代を超えた交流のひとつとなりました。



▲船橋観音堂の前で鈴木さんの話を聞く子どもたち。



▲深津畳店で畳職人・深津さんのお話に耳を傾けました。

「3.11 を忘れない！」駅前集会 共に歩んだ 10 年間

3月6日(日)、「3.11を忘れない！」追悼集会が、千歳船橋駅前広場で開催されました。10回目となる今回をもって、駅前広場での追悼集会は終了することになりました。大看板の設置は3月12日(土)まで。

これまで10回を重ねる「3.11を忘れない！」の追悼集会は、地域の多くの方の熱意によって支えられてきました。第1回目は、2013年に千歳船橋駅前広場運営準備会と船橋地区身近なまちづくり推進協議会の共催で開催されました。当時、自転車の放置やゴミの散乱が課題になっていた千歳船橋駅前広場を、活用する方法について、住民が知恵を出し合っていました。その中から「東日本大震災追悼集会を開催したい」という声が上がリ、スタッフがアイデアを出し合い、熱心に学校や団体に協力を呼びかけ、実現しました。

10年目を迎えた今年の追悼集会では、大樹を描いた大看板の前に灯ろうが並べられ、「お絵描きコーナー」では子どもたち

が灯ろうの和紙に絵を描きました。会場にはこれまでの活動報告や寄付金の送付先との交流の報告、お礼状などが掲示されました。

広場と改札口前の2か所に募金箱が置かれ、感染予防のため口頭ではなく録音した音声で募金を呼びかけました。今回の寄付金は「福島子どもたちとともに・世田谷の会」に贈られます。

東日本大震災から11年、この間、日本各地で災害が多発しています。これまでの活動で培われたものを、今後の防災やまちづくりに活かすことが期待されます。

3.11を忘れない！実行委員会からの一言



実行委員長 網木雅敏さん
「地域の皆様、10年間にわたってご支援・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。この追悼集会で得られた経験や 3.11 に対する皆様の真摯な思いを糧として、地域の防災力の更なる向上に努めていきたいと思っております」



副実行委員長 加藤久美子さん
「回を重ねる度に交流が深まりました。会場で被災地に繋がる方のお話しをお聞かせいただいたことが忘れられません。皆様、ありがとうございました」



桜丘町会長 岡庭茂行さん
「小田急の線路を挟んだ両側の町会・自治会で追悼集会に取り組み、貴重な経験でした。今後も3.11を忘れず防災を心がけていきたいと思っております」



3月6日(日)追悼集会駅前広場の様子 ▶

第1回(2013年)3/10~3/11



追悼集会は黙とうで始まり、地域の中学校(船橋希望、桜丘)、高校(都立千歳丘、大東学園)の生徒による合唱や合奏、詩の朗読などがあり、近隣の5つの小学校(船橋、希望丘、千歳台、笹原、桜丘)の児童が灯ろうに絵を描きました。寄付金は岩手県の大船渡市立末崎小学校へ。

第2回(2014年)3/9~3/11



実行委員会が立ち上がりました。バイオリン演奏、合唱や合奏、詩の朗読などがあり、来場者も灯ろうに絵を描きました。最終日には千歳台小学校の塚田校長(当時)が、石巻市の北上小学校との交流について話されました。寄付金は同校に贈られました。

第3回(2015年)3/8~3/11



「音楽を楽しむ会」のバイオリン演奏や船橋希望中学校の吹奏楽、3つの高校(都立千歳丘、都立芦花、大東学園)の合同吹奏楽や3つの高校(都立千歳丘、大東学園、都立東大和南)の合同合唱、子どもぶんか村の子どもたちの詩の朗読などがありました。寄付金は宮城県の「NPO プラスネオ」へ。

第4回(2016年)3/11~3/12



保坂区長が挨拶されました。「NPO プラスネオ」代表・中村健司さん、笹原小学校の峯岸副校長(当時、岩手県山田町出身)が復興状況を話して下さり、寄付金は山田町に贈られました。中高生による吹奏楽や合唱、詩の朗読などがあり、灯ろうが灯されました。

第5回(2017年)3/11~3/12



演奏や合唱、朗読などが行われ、会場には「NPO さくら並木ネットワーク」に寄贈された大漁旗が飾られました。千歳台小学校の小宮校長(当時)は「震災時にまだ生まれていなかった児童が入学してきたことから、災害時の命の尊さをどう受け止めるかを考えた」と話されました。寄付金は「NPO にじいろクレヨン」へ。

第6回(2018年)3/11



灯ろうの飾り方、ポスターなどを一新。演奏や合唱、詩の朗読は例年通りに行いました。寄付金は「気仙沼あそびーばーの会」へ。

第7回(2019年)3/10

歌や合奏、朗読に続き、保坂区長が挨拶されました。寄付金の贈り先は岩手県の「NPO まんまるママいわて」。夕闇の中、灯ろうが川の流れるように浮かび上がりました。



第8回(2020年)3/8

コロナ禍のため催しは中止になり、大看板が3月5~11日に設置されました。

第9回(2021年)3/7



コロナ禍のため、灯ろうの点灯は取りやめたものの、約600個を広場に配置しました。寄付金は「NPO さくら並木ネットワーク」へ。

地区の行事予定

日時	内容	会場	備考
3月18日(金)	区立中学校 卒業式		
3月25日(金)	区立小学校 卒業式		
3月26日(土)	船橋菫根会 防災訓練	菫根公園	
3月26日(土)	船橋地区身近なまちづくり推進協議会「歩こう会」	千歳船橋駅前広場 ～砧公園	
3月27日(日)	子どもぶんか村発表会	希望丘小学校	
4月6日(水)	区立小学校 入学式		
4月7日(木)	区立中学校 入学式		
4月上旬	船橋菫根会「さくらまつり」	菫根公園	中止
4月上旬	千歳台廻澤町会「花まつり」	希望丘公園	中止
5月15日(日)	古着・古布回収	管内6か所	

「子どもおとなもワクワクしよう！」 第17回子どもぶんか村発表会

3月27日(日)、「子どもぶんか村発表会」を行います。観覧方法や来場者の人数制限などを想定して「ワクワクレベル」を設定し、どんな感染状況でも開催できるように準備しています。観覧希望の方は2次元コードからお申込みください。メールにて開催概要をお知らせします。



子どもと大人が参加する実行委員会では、子どもの進行でポスターの絵やスローガン、当日の流れなどを決めています。



○「11を忘れない！」追悼集会が開かれました。関係者の皆さんは「被災地、そして地域のつながりを深められた10年間だった」と振り返っていました。○船橋菫根会役員の高橋久一さん(94歳)は、自叙伝「私の人生を振り返って―仕事、戦争、船橋・八幡山のこ」とを上梓。船橋はレンゲが咲き鳥山川が流れる田園地帯だったこと、戦争中は空襲を受け、船橋4丁目には高射砲陣地があったこと、50年前の土地整理で希望ヶ丘団地、希望丘公園、小中学校がつくられたことなど、地域の成り立ちがよくわかります。この本は、船橋まちづくりセンター、せたがや平和資料館、世田谷郷土資料館などでご覧いただけます。○まん延防止措置延長の中にあっても、様々な営みが続く地域の様子をお伝えしました。そしてウクライナでは戦火が、当たり前の日常の尊さをかみしめる春になりました。(M)

〈編集後記〉

「ボッチャアミーゴ」始動！ 希望ヶ丘団地

ボッチャとはイタリア語で「ボール」、重度機能身体障害者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目。障害があっても無くても、幼児から高齢者までが多世代で楽しめます。

区では「ボッチャの世田谷」というスローガンを掲げて普及に取り組んでおり、「ボッチャ世田谷カップ」も開催。希望ヶ丘地域体育館に正式なコートが3面あり、小中学校、児童館、町会・自治会などで、ボッチャ体験が行われてきました。

(株)URコミュニティ東京南住まいセンター(以下 UR)では希望ヶ丘団地を中心とした近隣地域のコミュニティづくりの一環として、希望ヶ丘団地集会所で6回のボッチャ体験教室(昨年11月～2月)を開催しました。体験教室に参加した方たちは、「想像以上に楽しかった！」と2月にサークル「ボッチャアミーゴ」を立ち上げました。見学・入会のご希望の方は、柏倉代表(090-1666-7194)まで。



希望ヶ丘団地集会所で開催された体験教室

ボッチャに関するご相談は、世田谷区スポーツ推進委員・初級障害者スポーツ指導員まで。

もくしょく 「黙食」 静かな食事風景 船橋希望中学校

保健給食委員の「いただきます」の合図でマスクを外し、パーティションを立てた机で全員が前を向いて黙々と食事をする―船橋希望中学校では、給食時の新型コロナウイルス感染リスクを減らすため、現在も「黙食」のスタイルで食べています。

食べる時だけでなく、配膳時もほぼ無言。視聴覚委員の放送に耳を傾け、給食を味わいながら食べているとのこと。シーンとした中に流れるお昼の放送がありたく感じられ、生徒たちの楽しみの一つとなっています。



菅野校長先生は「一日も早く、以前のように机をくっつけて、楽しくおしゃべりしながら食べる日が戻ってきてほしいですね」と話しています。

◀ 中学校での給食の様子。船橋・希望丘・千歳台小学校でも同様のスタイルで食事をしています。

日本赤十字社活動資金募集のご報告

昨年度は感染防止を重視し、戸別訪問を中止しましたが、今年度は募金を再開できました。皆さまのご協力に感謝します。次年度もどうぞよろしくお願いいたします。募金額：1,179,395円(船橋地区の総額)

地域で子どもを見守っています 登下校の安全

児童の登下校を見守る「子ども安全ボランティア」活動は、2005年に始まりました。緑色のビブス(ベスト)や、オレンジ色や緑色の腕章を身に付けて、パトロールをしています。PTAでは、登校時の旗振り・地域の見回り・祭礼パトロールなどに取り組んでいます。また、忙しい保護者の負担を軽減する工夫も重ねられており、世田谷区立小学校PTA連合協議会(世小P)などから配られる「パトロール中」の表示を自転車に付ける取り組みもあります。

登下校時は主事さんによる安全確保の他、不審者情報などあれば先生方も学区域内を確認します。校門に警備員が立つ姿も、おなじみになりました。児童・生徒への防犯ブザーの配布は、20年近く続いています。

町会・自治会、商店街も

地域では青色灯を付けたパトロールの車が、通学路とその一本隣の道を不規則に巡回しています。住宅や店舗に「子ども110番の家」のステッカーが貼られ、いざという時の通報・保護する取り組みもあります。この他、自治会・町会、消防団などでは、夜回りや歳末パトロールにも取り組み、防犯担当者の意見交換会もしています。

成城警察署では交番勤務の警察官や「スクールサポーター」が児童・生徒の安全に気を配り、警察から委嘱された「少年を守る環境浄化推進委員」も見守っています。商店街でも安全を守る部門を設けています。

このように、様々な人々が子どもの安全のために努力をしています。これからも地域の子どもたちを、あたたかく見守っていきたいと思います。



▲ 子ども安全ボランティアのビブス

「船橋地区身近なまちづくり推進協議会」の紹介

身近なまちづくり推進協議会は、まちづくりセンターごとに置かれ、「住みよいまち世田谷」の実現に向けて、区政と共同協力した自主的なまちづくり活動を行っている団体です。委員は、地区の住民の中から選ばれ、区長が委嘱し、任期は2年です。

船橋地区身近なまちづくり推進協議会では、次のような活動を行っています。

- ・歩こう会(年2回)開催
- ・さざ草講習会・さざ草展開催
- ・健康講座開催(年8回)
- ・千歳船橋駅前広場花壇の手入れ(毎月)
- ・世田谷区たばこルール周知活動



駅前の花壇を手入れする委員 ▶

お問合せは船橋まちづくりセンターまで。

環八船橋四丁目交差点付近 植栽が新しくなりました

成城警察署近くの千歳台側の植栽は、大人の背丈よりも高く育ち、繁りすぎて歩道が薄暗くなっていましたが、道路を管理する東京都により昨年末に丈の低いサツキに植え替えられました。このあたりは道路沿いと歩道の中央に2列に植栽のある「バッファゾーン」(緩衝地帯)で、昭和40年～平成2年頃の希望ヶ丘土地区画整理の折に、ヨーロッパの環境先進国の植栽をモデルにしてつくられました。サツキは道路沿いという過酷な環境に耐える力を持ち、空気清浄の働きがあります。しっかりと根付いて、春にはきれいな花々を咲かせてくれることでしょう。



植えられたサツキ ▶